

民間資源回収場所における回収量等調査

資料4

| 調査対象年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-----------------|--------------|--------------|--------------|
| 回収箇所数 | 35箇所 | 33箇所 | 35箇所 |
| 回収品目別設置箇所数(回収量) | | | |
| 段ボール | 32箇所(1,148t) | 30箇所(1,185t) | 32箇所(1,231t) |
| 古着 | 28箇所(469t) | 25箇所(366t) | 25箇所(363t) |
| スチール缶 | 4箇所(5t) | 5箇所(12t) | 5箇所(12t) |
| ガラスびん | 1箇所(97t) | 1箇所(123t) | 2箇所(113t) |
| ペットボトル | | 1箇所(30t) | 1箇所(32t) |
| 回収量合計① | 3,478 t/年 | 3,503 t/年 | 3,456 t/年 |
| 稲沢市における資源回収量② | 4,011 t | 3,827 t | 3,550 t |
| 全体に占める割合①÷(①+②) | 46.4% | 47.8% | 49.3% |

調査対象品目は、新聞紙、雑誌、雑がみ、段ボール、牛乳パック、古着、ガラスびん、スチール缶、アルミ缶、ペットボトル

- ・ 調査対象のうち、3箇所は回収量非公開であった。
- ・ 新聞紙、雑誌は35箇所全部、段ボールは3箇所を除き回収がある。
- ・ ガラスびんは1箇所増加している。
- ・ 民間資源回収場所での取扱いが少ないスチール缶・小物の鉄類、ガラスびん、ペットボトル等については、引続き行政回収(分別収集)による排出機会の確保が必要となる。

※②は、集団回収、分別収集、地域ステーション及び拠点回収での回収量の合計。